

～下記の研究を行います～

『大阪医療センターにおける医療用麻薬レスキュー自己管理システムの 認知度調査と導入意向に関する理由の探索』

【研究責任者】 大阪医療センター 緩和ケア内科 相木佐代

【研究の目的】 大阪医療センターでは、医療用麻薬レスキューの自己管理システムが整備されているが、残念ながら導入件数が少ない。その原因の探索および改善案の構築のため、大阪医療センターに勤務する、がん患者を多く担当する医師、看護師、薬剤師を対象に、自己管理システムの認知度と導入されていない理由を調査する。

【研究の期間】 研究許可日～2023 年 6 月 30 日

【研究の方法】

●対象者

大阪医療センターに勤務する、がん患者を多く担当する医師、看護師、薬剤師が対象です。医師は上部消化管外科、下部消化管外科、肝胆膵外科、呼吸器外科、乳腺外科、婦人科、泌尿器科、口腔外科、消化器内科、呼吸器内科、血液内科の初期研修医を除く医師を対象とします。

看護師と薬剤師は、がんに関連する病棟である、東 10 階、西 10 階、東 9 階、西 9 階、西 8 階、東 5 階に所属する者を対象とします。

●研究に用いる試料・情報の種類

試料：ありません

情報：医療用麻薬レスキュー自己管理に関する説明会の前後でアンケート調査を実施します。調査票への記入及び提出をもって本研究への参加をご同意いただいたものとみなします。

【研究の資金源】

なし

【利益相反】

臨床研究における利益相反（COI (シーオーアイ) : Conflict of Interest) とは、「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メ

一から研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。

なお、本研究の利益相反については、当院の利益相反審査委員会で審査され適切に管理されています。

◎本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

◎ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

◎情報等が当該研究に用いられることについて、本研究対象である医療者もしくはその代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも、当該医療者に不利益が生じることはありません。

国立病院機構大阪医療センター

〒540-0006 大阪府大阪市中央区法円坂2丁目1-14

TEL (06) 6942-1331 (代)

研究責任者 ケアサポートチーム／緩和ケア内科 医員 相木 佐代